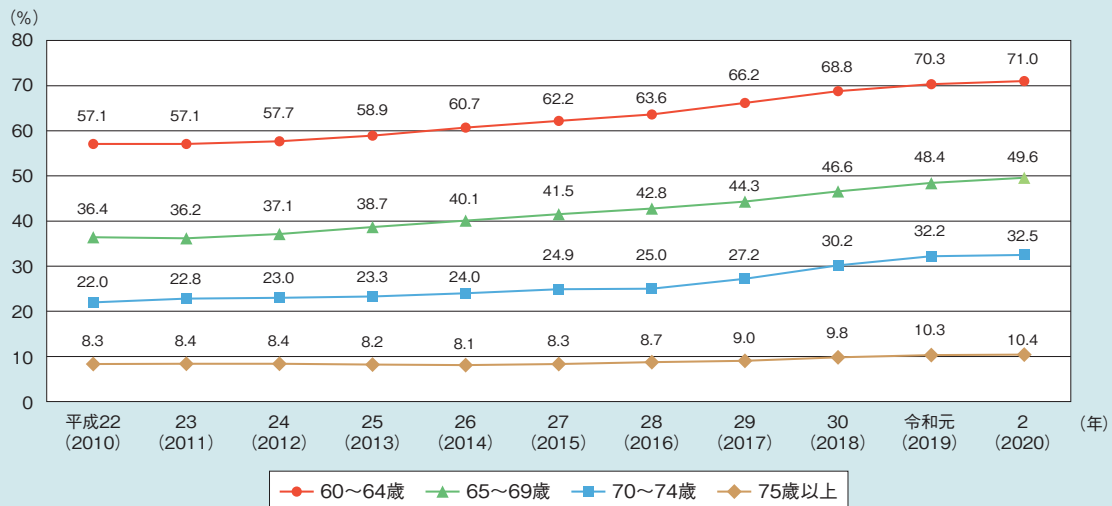


第2節 高齢期の暮らしの動向

○年齢階級別の就業率の推移

- ・年齢階級別に就業率の推移を見てみると、60～64歳、65～69歳、70～74歳では、10年前の平成22（2010）年の就業率と比較して、令和2（2020）年の就業率はそれぞれ13.9ポイント、13.2ポイント、10.5ポイント伸びている。

図1-2-1 年齢階級別の就業率の推移



資料：総務省「労働力調査」

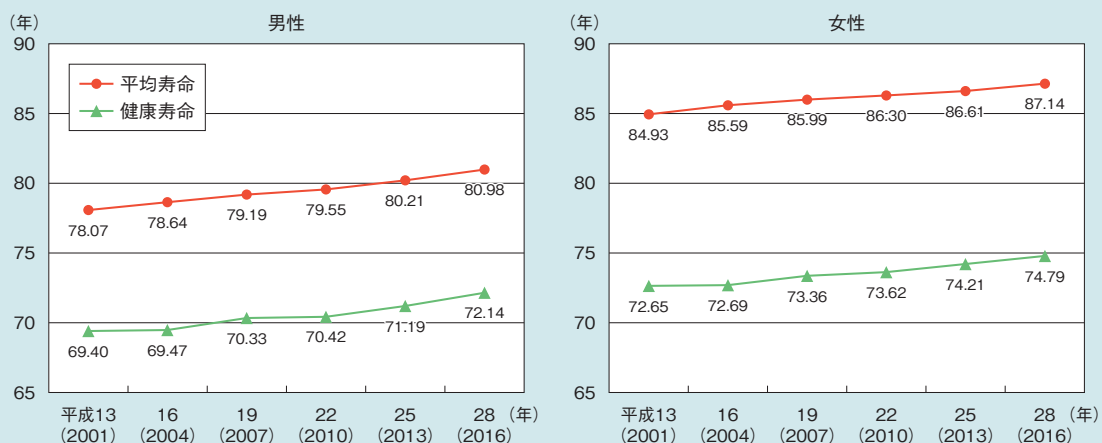
(注1)「就業率」とは、15歳以上人口に占める就業者の割合をいう。

(注2)平成23年は岩手県、宮城県及び福島県において調査実施が一時困難となったため、補完的に推計した値を用いている。

○健康寿命は延伸し、平均寿命と比較しても伸びが大きい

- ・日常生活に制限のない期間（健康寿命）は、平成28（2016）年時点で男性が72.14年、女性が74.79年となっており、それぞれ平成22年（2010）年と比べて伸びている（平成22年→平成28年：男性1.72年、女性1.17年）。さらに、同期間における健康寿命の伸びは、平均寿命の伸び（平成22年→平成28年：男性1.43年、女性0.84年）を上回っている。

図1-2-2 健康寿命と平均寿命の推移



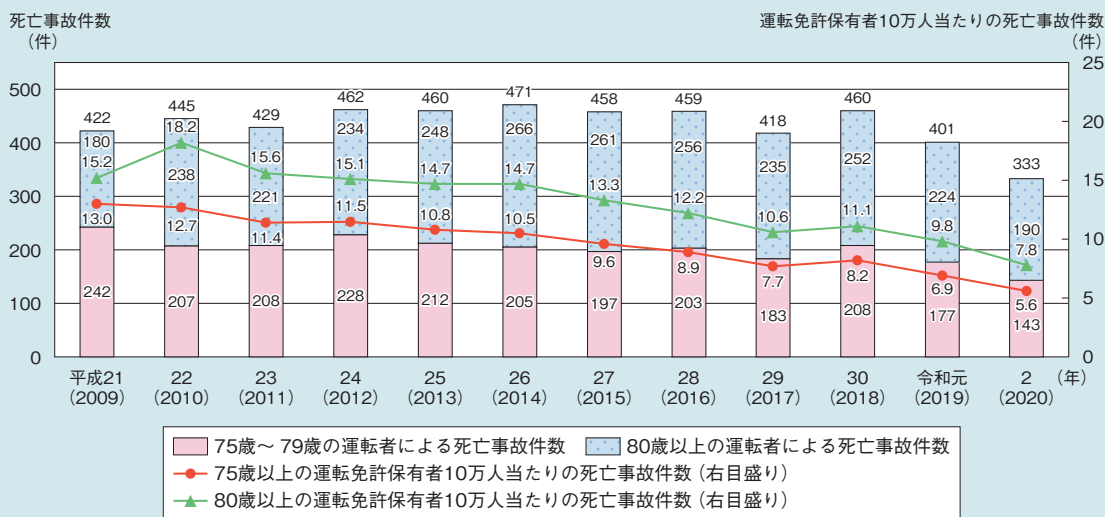
資料：平均寿命：平成13・16・19・25・28年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成22年は「完全生命表」

健康寿命：厚生労働省「第11回健康日本21（第二次）推進専門委員会資料」

○75歳以上の運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は減少傾向

・75歳以上の運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は減少傾向にある。令和2（2020）年における運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数は、75歳以上で5.6件、80歳以上で7.8件と、いずれも前年より減少している。

図1-2-3 75歳以上の運転者による死亡事故件数及び75歳以上の運転免許保有者10万人当たりの死亡事故件数



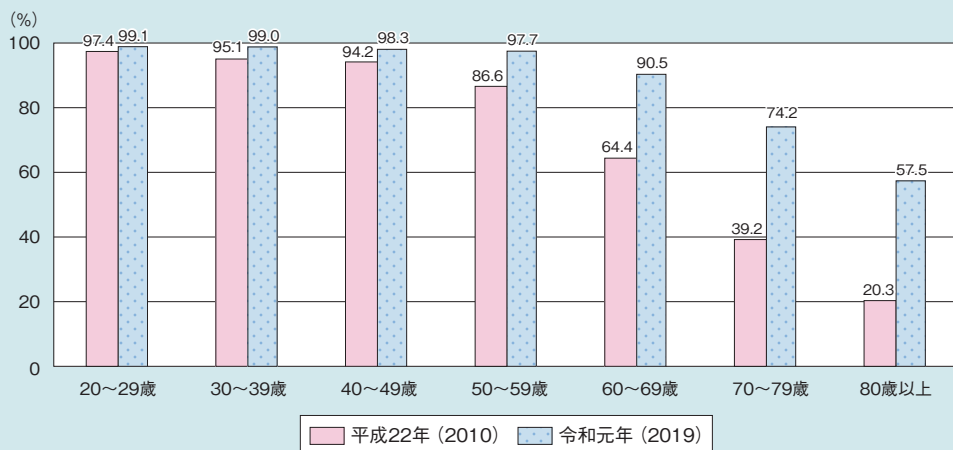
75歳以上の運転免許保有者数(万人)	
平成21年	324
22年	351
23年	375
24年	403
25年	425
26年	447
27年	478
28年	513
29年	540
30年	564
令和元年	583
2年	590
うち、80歳以上	
119	131
141	155
169	180
196	209
221	227
229	243

資料：警察庁統計による
 (注1) 各年は12月末の運転免許保有者数である。
 (注2) 第1当事者が原付以上の死亡事故を計上している。

○インターネットを活用する人が増加傾向

・過去1年間にインターネットを利用したことがあるかについて、利用者の年齢階級別に増加率を9年前と比較すると、80歳以上が37.2ポイント増と最も大きく、次いで70～79歳が35.0ポイント増となっており、インターネットを利用する60代以上の者が特に増加傾向にある。

図1-2-4 利用者の年齢階級別インターネット利用率



資料：総務省「通信利用動向調査」
 (注1) 無回答を除く。
 (注2) 令和元年は調査票設計が例年と異なることから、他の年と結果を比較する際には注意を要する。